

平成 30 年度 第 1 回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 平成 30 年 7 月 25 日（水） 午後 3 時から午後 5 時まで

場 所 長野市役所第一庁舎 7 階 第一委員会室

出席者 委 員：齊藤委員、荒井委員、岩澤委員、金澤委員、北村委員、清水委員
玉城委員、山岸委員、山本委員、若山委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）倉島部長、内山課長
新井補佐、久保係長、山口主事

教育委員会事務局文化財課 松木補佐

《資料》

資料 1 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 平成 30 年度版

資料 2 平成 30 年度 文化芸術振興事業予算の概要

1 開会

2 委嘱書の交付

3 会長挨拶

4 自己紹介

5 役員の選出

会長の指名により職務代理に金澤委員を選任

6 職務代理あいさつ

7 議事

(1) 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 平成 29 年度事業状況及び平成 30 年度事業計画について

(事務局)

〈資料 1 について説明〉

(会長)

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

(A 委員)

指標のアンケートはいつ、どこで、誰が調査したのか。

(事務局)

毎年 7 月に市民アンケートとして市の政策全般について、企画課で調査をしている。

(A 委員)

アンケートには客観性が必要。民間の調査機関の方が信憑性はあると思うがいかがか。
表面的な調査を行っても意味がない。こういった調査を行ったのかが書いてない。

(事務局)

5,000人を対象に統計学に基づいており、信憑性はある。環境が整っていると感じている面とご自身で親しんでいるといった両面から聞いている。ただし、アンケートは時期によって結果が異なることがあるため、目標値は数字ではなく斜め上の向上を目指すとしている。

(会長)

信頼性はあると判断できる。意見としてお伺いするといったことでよろしいか。

(B委員)

指標目標値の斜め上矢印の説明をお願いします。

(事務局)

アンケートは年度によってばらつきが大きく、途中でクリアーしても最終年度で落ちてしまう場合もある。5年間でトータル5ポイント上げる指標になっている。

(B委員)

その辺の説明がないと曖昧になり誤解を生じる。また実績値のフォローアップによる目標値の修正についても検討する必要がある。市民に公表する際、その辺も考慮しないと数字だけが独り歩きする怖さがある。

(事務局)

資料の作り方は検討する。年代別のクロス集計もあるので、どういった上げていくかは、検討する。

(A委員)

長野市の文化とは何か。全体を上げるよりも市民一人一人の文化力を高めていく必要がある。野外彫刻は、以前の会議録にも一ヶ所にまとめたらという意見があった。50年経った時点で止めるといった考えも必要ではないか。

(事務局)

以前は毎年必ず設置をしたが、26年度に見直しを行い、27年度以降は設置していない。今ある物については、維持補修し、有効活用している。集約も検討したが、設置の際に現地に合うものを設置した経過があることと、移設にも大きな費用がかかることから実現はしていない。

(C委員)

野外彫刻を見て自分の作品に刺激を受けた。海外では街並みに彫刻がある環境が多くあり、子どもたちがそういった環境にいて何も感じない訳がない。

(D委員)

貴重な財産であり、利活用していくことが文化芸術を育む街の力になる。都市のあり方として、メンテナンスと背景が大切。

(A委員)

長野には長野の伝統文化がある。音楽について言えば日本古来の音楽と外国の音楽を

常に融合することが大切。

(E 委員)

文化の継承が大切。これだけ市が多く事業に取り組んでいる中で、子どもたちが参加できるように考えるのがこの場だと思う。地域行事に参加できるようにするのも学校の使命と考えてる。

(B 委員)

文化芸術の香り高い街づくりがハードに融合し、一つの方向性をもっていることが、大きな評価基準となっている。長野市の彫刻は、他県・他市から多くの視察があり、地方都市にも影響を及ぼしている。質の高い都市を形成するには、不可欠なツールであり、付加価値の高い街にしていく。これだけ多くの文化芸術に取り組んでおり、選ばれた街として私は評価している。

(F 委員)

獅子舞フェスティバルを芸術館でもやってはどうか。芸術館をワクワクする空間にしてほしい。獅子舞フェスティバルが長野市の核となれば良い。

(A 委員)

長野市が誇るべきは飯縄山の文化である。長野市では、公民館を利用した文化芸術活動が日本一盛んに行われている。今、公民館を借りて行われている市民の芸術・芸能活動の発表の場として芸術館が利用されるべき。獅子舞を芸術館で行うのは賛成。

(会長)

様々な貴重なご意見をいただいたので、ご検討をお願いします。(1)については、よろしいでしょうか。では、(2)へ議事を進めます。

(2) 今年度の文化芸術振興事業概要について

(事務局)

〈資料 2 について説明〉

(会長)

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

(A 委員)

来年 1 月 5 日は松井須磨子の没後 100 年である。事業に入れてしかるべきでは。

(事務局)

文化芸術課の事業をまとめた資料で、松井須磨子の事業については、観光振興課で進めている。

(A 委員)

他の補助金と比較して書道に対する補助金が少ない。もっと出せないのか。

(事務局)

長野県書道展は、県内各地を回っており、他の市町村からも補助金が出ている。長野

市負担分として5万円を支出している。

(F委員)

劇団四季の「キャッツ」を芸術館で出来ないか。子どもは無料で招待したらどうか。

(A委員)

芸術館の指定管理料はもう少し安くできないか。

(事務局)

人件費、建物の維持管理など固定的にかかる部分があり、劇的に下げるのは難しい。自主公演のチケット収入等が増えれば多少抑えることはできる。

(E委員)

芸術館は獅子舞や公民館活動の発表など、育てる場とすることが役割だと思う。

(A委員)

芸術館だけでなく、飯縄山の山頂に文化館が必要。

(会長)

今後に向けての具体的な提案と将来に向けて大きな構想をいただいた。どこかの機会ですらに協議を深められればと思う。

8 その他

(A委員)

G委員から所管されている芸術館についてのお考えを伺いたい。

(G委員)

公共ホールとして、市民参加型を進めており、ジュニアコーラスを立ち上げた。5、10年経過した時に間違っていなかった理解していただき、長野にとって愛される芸術館となるよう進めていく。

(A委員)

芸術監督は必要か。

(G委員)

オープンの際は必要だった。今後については、検討している。

(A委員)

市民1人1人が文化人であることを自覚することが必要。自分から学ぶといった意識が重要である。

(事務局)

今回は2月下旬に予定をしている。引き続きよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

9 閉会